

→表面から

- ⑦ いじめが原因と思われる自殺等が後を絶ちません。さらなる具体的手立てはありますか。

(回答) 総合支援課

学校では、子どもたちの些細な変化を見逃さないように気を配るとともに、担任や養護教諭等を中心に、気軽に相談できる関係づくりに努めています。また、いじめの早期発見のために、毎月、「きずなアンケート」を実施しています。市教委では、近年、SNS等でのいじめも増加していることから、専門の業者に委託し学校非公式サイト等パトロール事業を行い、未然防止と早期発見を図っています。

さらには教職員のいじめ問題に対する資質向上をめざして、「いじめ・不登校ハンドブック」(改訂版)を全教職員に配付し、各学校での研修で活用するとともに、市教委が主催する研修においても活用しています。

今後も、学校、家庭、地域と適切に連携を図りながら、常にいじめはどの子どもにも起こりうるという危機感を持って、いじめ問題に取り組んでまいります。

- ⑧ 見えにくいいじめ対策として、カウンセラー増員、学校と保護者との連携強化取組を願います。

(回答) 総合支援課

子どもたちの心のケアを図るため、本市は拠点となる21中学校にスクールカウンセラーを配置しています。カウンセラーの増員につきましては、学校の状況等を踏まえ、心のサポート相談員等、相談体制全体の中で検討してまいりたいと思います。

いじめ問題に対応するためには、学校と保護者との連携が重要なことから、学校は保護者や地域に対して、ホームページ等を活用して学校いじめ防止基本方針を公表するとともに、学校便り等を通じていじめに関する取組状況等をお知らせしています。

今後も、情報の共有化等を図り、学校と保護者がしっかりと連携していじめ防止等に取り組む必要があると考えています。

<地震関連>

- ① カウンセラーによる子どもへの心のケアを、長期間行っていってほしいと願います。

(回答) 総合支援課

学校代表者等で構成する子どもの心のケア推進会議や熊本市スクールカウンセラー連絡協議会で出された意見、カウンセリングが必要な児童生徒数のアンケート調査の結果等を踏まえて、今後のスクールカウンセラーの配置を検討していきます。

- ② カウンセラーによる講話は保護者を安心させました。その後の稼働状況はいかがでしょうか。

(回答) 総合支援課

スクールカウンセラーの派遣にあたっては、学校に対し教職員や保護者を対象とした心のケアに関する研修会の開催を働きかけました。心のケアに関する研修会については、今後も学校の状況に応じて開催する必要があると考えております。

- ③ 郷土の資産である文化・伝統遺産が多く被災しました。行政からの支援をぜひお願いしたい

(回答) 文化振興課

今回の地震では、現在75件の指定文化財の被害が確認されています。

指定文化財の修復については、法令上、所有者が行うこととなっており、四時軒等、市が所有するものについては、まずは詳細な調査を行い、文化財としての復旧工法を検討し、その後、順次工事を進めて行くこととしております。

また、民間が所有するものについては、国・県・市の指定区分により、国、県又は市がその復旧について、技術的及び財政的支援を行っていくこととなっております。

地域に残る未指定文化財についても、文化財建造物復旧の技術的支援を行う「文化財ドクター制度」や、美術工芸品等を安全なところに避難させる「文化財レスキュー事業」等が国により進められているところです。

しかし、未指定文化財については、公的な財政支援制度はないため、現在、文化財としての潜在的価値を有する未指定文化財を含めた国指定以外の文化財への復旧費の国庫補助制度の創設について、国に要望をしているところです。

2 確かな学力の向上に関して (授業・家庭学習等)

- ① 学力の質を上げるため、家庭ではどのような声掛け等をしたらよいでしょうか。

(回答) 指導課

学校における授業に関しては、「わからないことはその場で先生に質問するといいよ」「授業を集中して真剣に聞こうね」等、学校で習ったことは、学校できちんと消化するような声掛けをすると良いと思います。

家庭学習に関しては、「1日で学習する時間を決めて、その時間は真剣にやろうね」「(学習部屋にゲームやスマホ等を持ち込まない、勉強中はテレビや音楽は消す等)ながら勉強をせずに、学習時間いっぱい集中しようね」等、家庭でしっかりと約束を決めて、それはしっかり達成しよう、というような声掛けをすると良いと思います。

→次号へ続く

